



レバンテタイムズ サマリー SUMMARY

チャレンジサイクルロードレース 2026

春を告げる熱戦、森鳳翔選手が表彰台！



サイクルロードレースの聖地・修善寺で、森選手が堂々の3位入賞。オレンジの大声援が選手たちの大きな力に。

春の晴天に恵まれた伊豆・日本サイクルスポーツセンターで、「2026 チャレンジサイクルロードレース」が開催された。毎年4月初旬に行われるこの大会は、“春を告げるクラシックレース”として知られる伝統の一戦。地元静岡県での開催ということもあり、会場にはチームカラーのオレンジを身にまとった多くのファンが駆けつけ、選手たちへ熱い声援を送った。

アップダウンが続く日本屈指の難コースで行われたM23クラスは、序盤から激しい展開に。レース終盤、約30名による集団勝負となる中、森選手が冷静な位置取りから力強いスプリントを披露。見事3位を獲得し、地元ファンを大いに沸かせた。

地元静岡開催という特別な舞台で多くのファンやサポーターの前を全力で走れたことへの喜びを語った。

また、応援を送り続けるファン・スポンサーをはじめ、チームメイト、監督、スタッフ、そして日頃から支えてくれる関係者への感謝の言葉も。連戦の中で最高のコンディションへ導く木村コーチや、気にかけて続けてくれる床井氏への想いも口にした。

シーズンはまだ序盤。今後も厳しいレースが続く中、「フルガスで戦い、少しでもチームに貢献したい」と力強くコメント。これから続く連戦へ向け、さらなる活躍が期待される。

サバイバルレース突破

髙クラスは、スタート直後から実力者たちによる激しいアタック合戦となった。高梨選手、サルマ選手を中心に積極的に対応するが、強豪チームによるハイペースな展開に苦しみ、序盤から消耗戦となる。終盤、山口選手はチェントラブルに見舞われ一時後退。

「集団内で余裕がなく、シフトミスでチェンンを落としてしまった。」とレース後に振り返ったものの、最後まで諦めず追走を続け11位でフィニッシュ。一方、竹内選手も厳しい展開の中で単独走行となりながらも18位でフィニッシュ、ともに全日本選手権への切符を手にした。



井出晃太郎選手、新章開幕

2024年全日本大学対抗選手権で、ケイリン・スプリントの2冠を達成した実力派スプリンター、井出選手が、日本競輪選手養成所へ入所。競輪選手になるためには、国家試験である「競輪選手資格検定」に合格しなければならぬ。ここから始まる9か月。厳しい訓練の日々を経て、“競輪選手・井出晃太郎”としてのデビューを目指す。

RACE INFORMATION

ツアーオブジャパン 富士山ステージ in 小山町 5月29日(金)

一緒に声枯れるまで応援しませんか？

平日開催にはなりますが、県内開催だからこそ行けるチャンス！オレンジを身にまとい、一緒にレバンテフジ静岡を応援しましょう！



レース豆知識

TOJ(ツアーオブジャパン)てどんなレース？

日本各地を転戦しながら8日間かけて総合順位を争う、国内最高峰クラスの国際ロードレース。海外強豪チームや日本トップ選手が高速バトルを繰り広げる。個人総合優勝だけでなく、山岳賞やポイント賞など複数のタイトルがあり、街全体が盛り上がる“自転車ロードレースの祭典”として親しまれ、日本のツールドフランスとも言われている。富士山ステージは、TOJ屈指の難関山岳コース。静岡県小山町を舞台に、周回コースを経て、最後は富士山須走口五合目まで続く「ふじあざみライン」を駆け上がる。平均勾配10%、最大22%の激坂は国内最高レベルともいわれ、総合優勝争いを左右する重要ステージ。富士山を背に、選手たちが限界まで挑む姿が見どころの“クイーンステージ”である。連日の高速レースで、選手たちの疲労もピークに達するころ。だからこそ、地元・静岡から送る声援が力になる。富士山のふもとで、レバンテファン旋風を巻き起こそう。

現地では味わえない熱気を、一緒に。

推

してください！
2026
サポータークラブ会員募集



レバンテフジ静岡のファンクラブでは、4つの会員カテゴリーをご用意しています。

例えば、ライト会員（年会費2,500円）には、マフラータオルとステッカーがついてきます。さらにシーズンエンド報告会の会費1,000円OFFも加えると、なんと4,000円相当の特典です！

応援グッズを身につけて、ぜひ一緒にレバンテフジ静岡を盛り上げましょう！

入会はレバンテフジ静岡のホームページからお申し込みいただけます。

レバンテの裏話

せがわ じよえる コーナー
瀬川ジョエル選手



今回は、みんな気になっている(?) 瀬川ジョエル選手の名前の秘密を聞いてみました。
「ジョエル選手ってハーフなの？」
実は…純ジャバだそうです!!
名前の由来は、ご両親がハワイの伝説的サーファーを好きだったことから。
なんとも素敵な命名理由…! 🇺🇸🇯🇵
ちなみに、ご家族は誰もサーフィンをやらないそうです(笑)
学業にアルバイト、そしてプロのロードレーサー。
“三足のわらじ”を軽やかに履きこなす、タフガイ・瀬川ジョエル選手。
知れば知るほど目が離せません。



チイキ×レバンテ

小山町の子どもたちに、 ロードレースの魅力をお届け



5月29日に小山町で開催されるツアーオブジャパン“富士山ステージ”に向けて、瀬川ジョエル選手が小山町立足柄小学校・小山町立明倫小学校を訪問しました！

当日は、ツアー・オブ・ジャパンやサイクルロードレースについて紹介したほか、実際のロードバイク体験会も実施。初めて触れる本格ロードバイクに、生徒のみなさんも大興奮！

さらに、ジョエル選手によるデモンストレーションでは大きな歓声が上がリ、会場はまるでレース会場のような熱気に包まれました。

なんと「ジョエルコール」まで飛び出す場面も…! 🙌



小学校訪問の様子を投稿した公式Instagramには、「うらやましい!」コメントがたくさん届いていました。
まさに“地域×レバンテ”ならではの時間でした。
もしかすると次は、あなたの街にもレバンテ選手が現れるかも…! ?



生徒に囲まれるジョエル選手



最近のレバンテフジ静岡、髪色事情がにぎやかすぎる。サルマ選手は金髪坊主、

メカニック河野さんはもはや南国の鳥、スタッフ陣も紫に緑にカラフル化進行中。

……あれ？

肝心のレバンテカラー、オレンジがないですね? 🍊

これはもう、

“チーム愛が試される時”では。

次にオレンジ髪チャレンジするのは誰だ! ?



『私たちはレバンテフジ静岡を応援しています』 ※他 スポンサー様30社以上



・レバンテフジ静岡は、法人、個人を問わず、チームの成長と活動を応援いただけるスポンサー様を広く募集しております。
・キッズ自転車教室やサイクルロードレースに関するトークショーなどのイベント、セミナー、公演、メディア出演などのご依頼を常時受け付けております。